

やまが Yamaga City council News 市議会だより

第35号

6月定例会

令和4年8月1日
発行／山鹿市議会



伝統を受け継ぐ子どもたち（やはた保育園）

議会報告会
「議員と語ろう!」
※詳細は、後日お知らせします。
9月下旬開催予定

《もくじ》

政務活動費報告	2～3
委員会審査と報告	4
質疑・一般質問	5～9
審議結果・賛否表・討論	10
議員のよこ顔	11
議会の主な動き他	12

令和3年度「政務活動費」概要を報告します

山鹿市議会の政務活動費は、「山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人に対し月額2万円（年額24万円）が、毎年度4月に当該年度分として交付され、住民福祉の増進を図るために必要な議員活動にかかる経費に使うことができます。

収支報告は、翌年度の4月末までに領収書その他支出を証する書面（1円以上すべての領収書等）を所定の収支報告書に添えて議長へ提出しなければなりません。交付総額から残金がある場合は市へ返還となります（収支報告書の保存は5年間）。

令和3年度 政務活動費 議員別収支報告

No	氏 名	交付額	使 途 基 準 （ 項 目 ）										合 計	交 付 確定額	返還額
			調 査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要望・陳情 活動費	会議費	資 料 作成費	資料購入費	人件費	事務所費			
1	関口 和良	240,000	40,792	0	0	0	76,712	0	1,895	125,823	0	12,000	257,222	240,000	0
2	永田 壮弘	240,000	0	51,514	0	0	0	0	0	121,482	0	12,000	184,996	184,996	55,004
3	深牧 大助	240,000	0	51,754	0	0	0	0	0	58,920	0	12,000	122,674	122,674	117,326
4	原 芳郎	240,000	44,152	0	0	0	77,072	0	3,545	72,276	0	12,000	209,045	209,045	30,955
5	隈部 賢治	240,000	0	48,454	0	0	0	0	0	86,604	0	12,000	147,058	147,058	92,942
6	高橋 龍一	240,000	0	3,300	0	0	0	0	0	80,246	0	12,000	95,546	95,546	144,454
7	豊田新二郎	240,000	0	121,754	0	0	0	0	0	49,073	0	12,000	182,827	182,827	57,173
8	山下 誠治	240,000	40,792	0	0	0	75,912	0	0	119,540	0	12,000	248,244	240,000	0
9	古川 和博	240,000	0	0	0	0	0	0	9,460	124,911	0	12,000	146,371	146,371	93,629
10	金光 一誠	240,000	40,792	0	0	0	71,882	0	0	48,560	0	12,000	173,234	173,234	66,766
11	松見 真一	240,000	0	53,494	0	0	0	0	6,260	131,105	0	12,000	202,859	202,859	37,141
12	立山大二郎	240,000	0	3,500	110,000	0	0	0	3,740	113,498	0	12,000	242,738	240,000	0
13	小川 榮二	240,000	0	0	0	0	0	0	1,085	49,504	0	12,000	62,589	62,589	177,411
14	芋生よしや	240,000	0	58,300	156,594	0	0	0	0	151,795	0	12,000	378,689	240,000	0
15	勢田 昭一	240,000	0	0	132,000	0	0	0	17,595	80,817	0	67,000	297,412	240,000	0
16	有働 辰喜	240,000	0	96,480	0	0	0	0	0	29,866	0	12,000	138,346	138,346	101,654
17	服部 香代	240,000	0	48,500	101,245	0	0	0	0	62,050	0	42,000	253,795	240,000	0
18	富丸洋一郎	240,000	0	0	0	0	75,912	0	0	70,560	0	12,000	158,472	158,472	81,528
19	北原 昭三	240,000	0	0	58,981	0	0	0	0	98,323	0	33,186	190,490	190,490	49,510
20	永田 紘二	240,000	0	0	0	0	0	0	0	105,856	0	12,000	117,856	117,856	122,144
合 計		4,800,000	166,528	537,050	558,820	0	377,490	0	43,580	1,780,809	0	346,186	3,810,463	3,572,363	1,227,637
構 成 比		-	4.4%	14.1%	14.7%	0.0%	9.9%	0.0%	1.1%	46.7%	0.0%	9.1%	-		

項 目	使 途 内 容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費／団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	議員が要請及び陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

政務活動費の活用

私は、〇〇に使いました！

《広報費》



芋生よしや議員

活動報告の発行に使っています。

《要望・陳情活動費》

富丸洋一郎議員

熊本県選出の国会議員へ分田橋早期架け替えの陳情活動を行いました。

《研修費》

永田壮弘議員

滋賀県JIAM（自治体研修所）にて、『人口減少問題』の研修を受講しました。



《研修費》



豊田新二郎議員

地方議員研修資料を購入しました。（動画USB音声データ）

《事務所費》

勢田昭一議員

パソコンなどの機器がそろっている事務所で、議員活動をしています。



《資料購入費》

**立山大二郎議員
深牧大助議員**

書籍を購入し、政策作りや一般質問などに活用しています。



《研修費》

有働辰喜議員

民間会計と全く異なる自治体財政の理解能力向上を目的とした研修を受講しました。

《調査研修費》

関口和良議員

宮古島市長・教育長と経済交流などについて、意見交換をしました。

※事務所費の12,000円は、議会タブレットの通信費（一部負担）です。

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、
広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎委員長
◎副委員長

建設経済常任委員会

6/16
開催

◎富丸洋一郎 ○有働 辰喜 松見 真一
高橋 龍一 原 芳郎 深牧 大助

◆付託案件 議案1件…可決
バイオマスセンターについて

バイオマスセンターの廃止に伴う撤去費用は

来年度に向け現在積算中であるが、汚泥等の産業
廃棄物の処理に費用がかさむことが予想される。

園芸・特産事業者緊急支援事業について

その内容は

資材・燃料費等の補助支援である。

プレミアム商品券事業について

低所得者等、買いたくても買えない方もいるので
はないか。それよりも全市民へ5000円を配布し
たほうがよいのでは

消費喚起を促す事業であるため、2億6560万
円を投資して8億4000万円の経済効果を見込ん
で本事業を実施する。

事業の詳細は

プレミアム率40%で1冊1万4000円を1万円
で購入可能。全店共通が8枚、個店限定が6枚、6
万冊を予定している。前回は5万冊で7万冊の申し
込みがあり、今回は1万冊を増刷する。告知や申し
込み方法の周知を図る。

現地視察

久原地区防災重点以外のため池「中島の堤」、鹿本
町高橋地区「バイオマスセンター」を視察した。

市民福祉常任委員会

6/17
開催

◎小川 榮二 ○立山太二朗 北原 昭三
隈部 賢治 永田 壮弘 関口 和良

◆付託案件 議案5件…承認、可決
山鹿市鹿本ふれあいセンターについて

施設老朽化に伴う修繕等の経費の増加など、厳し
い運営状況が当面続くと思うが、赤字が続く中での
事業継続の判断は

修繕等を前向きに検討し、指定管理者と十分協議
の上、各種講座の充実など利用者増に努めたい。ま
た、指定管理期間は、令和5年度からの2年間を想
定しており、その後は他の福祉部所管施設と併せて
事業継続について検討していく。

コミュニティ助成事業における無線放送設備設置について

これまで山鹿市はやまがメイトの活用を推進して
きたはずだが、施策の一貫性がないのでは

やまがメイトの活用を推進しているが、あくまで
も地元からの申請ということで承認した。今後はや
まがメイトの利用推
進を含め、放送設備
の必要性についても
協議していく。

現地視察

令和5年度から指定
管理へ移行予定である
「山鹿市鹿本ふれあい
センター」の利用状況
等説明を受けた。



山鹿市鹿本ふれあいセンター

総務文教常任委員会

6/20
開催

◎勢田 昭一 ○永田 紘二 芋生よしや
金光 一誠 古川 和博 山下 誠治
豊田新二郎

◆付託案件 議案5件…承認、可決
山鹿市イメージ戦略推進事業について

山鹿版くまモンランド構想とは

日本文化を目当てに訪日する外国人観光客にアピ
ールできる、和モダンをキーワードに、豊前街道沿
いの「さくら湯から八千代座」を中心にくまモンエ
リアの整備を計画している。

くまモンエリアの具体的な内容は

提灯やのれんで一体感を演出したり、くまモンの
黒・赤・丸をテーマにしたスイーツの開発まで繋げ
たりしていければと考えている

コミュニティ助成事業について

幼年消防用鼓笛隊セットの現在までの寄贈状況は
昭和62年から現在まで山鹿市幼少年女性防火委員
会に加入の18園に寄贈済みである。

活動状況は

山鹿市消防フェスティバルの出演、地域の催し
物、保育園の運動会等で活動されている。



せきぐち かずよし
関口 和良 議員
(れいわ創造)

プレミアム商品券事業について

質問 前回との違いは

答弁 経済部長

今回はプレミアム率40%とし、多くの方々が利用できるように前回よりも1万冊ふやして6万冊を販売する。また、大型店以外の店舗で利用できる個店限定券の割合をふやし、1000円券14枚つづりの内個店限定券を6枚、全店共通券を8枚販売する予定。

アフターコロナ対策について

質問 アフターコロナに向けた支援方針は

答弁 市長

原油価格や物価の高騰から市民生活や事業活動を守り抜くための対策を最優先とし、今後、時機を失することなく、市民や事業者のニーズに応じたアフターコロナ対策を効果的に実施し、活力あふれる明るい山鹿の未来を切り開いていく。



きたはら しょうごう
北原 昭三 議員
(公明党)

AEDの効果的な設置について

質問 学校の校舎外設置の検討は

答弁 教育部長

現時点では、屋外設置は考えていないが、屋内設置であっても玄関等のわかりやすい場所へのAED設置、及びAEDステッカーによる明示など、使用者への周知に努める。

質問 ①コンビニへの設置の検討は
②女性に配慮したAEDの利用方法についての見解は

答弁 消防長

①24時間営業のコンビニにAEDが設置されれば利便性があることは理解しているが、消防本部としては最優先課題として、バイスタンダーの育成を目標に掲げているため、現時点ではコンビニへのAED設置は考えていない。



高齢者対策について

質問 ①市老人クラブ連合会の加入状況は
②地域の老人会等に対する支援は

答弁 ①福祉部長 ②市長

①山鹿市老人クラブ連合会の加入状況は、平成17年度末から本年4月末現在で減少率82.8%となっており、その主な要因は就労人口の増加や趣味の多様化等で、新規会員が集まらないためと考えられる。
②老人クラブ連合会への支援を継続しながら、状況を把握した上で総合的に判断していく。

山鹿市ふるさと応援寄附金について

質問 現状と見込みは

答弁 総務部長

本年1月から5月までの寄附実績は申し込みベースで、2148万3千円。今年度の寄附額の目標を5億円とし、その目標達成に向け、ふるさと応援寄附金の担当職員を1名配置した。中間事業者を3社にふやし、返礼品の開発等に取り組むとともに、6月1日より6つのポータルサイトで寄附受付を開始している。

※上記のほか、「人口減少対策」「山鹿市スポーツ推進計画」について質問

②今後も救急法指導時は、女性に配慮したAEDの使用方法が、十分浸透するよう指導していく。

閉校後の現状について

質問 ①旧鶴城中学校の現状は
②最終的にはどのような活用になるのか
③指定緊急避難場所となっているが、電気がとめられており、どのように考えるか
④今後の総合的な考え方、行政活用・地域活用・民間活用の検討期間などの具体的検討は

答弁 ①・②・④教育部長、③総務部長

①施設を継続して使用する上で不可欠な、電気並びに水道施設に関しては、現在は使用を停止している。
②庁内で組織する公有財産管理・運用検討委員会にて行政活用の方針で今後協議を重ねていく。
③避難先として適さないことや、公共施設の再編整備状況等により検証や見直しの必要性が生じている。今後、早急に見直しを図る。
④一定の期間を設けることで内・外に向けた情報の提供という面から効果があると思われる。検討期間の採用については、関係部署と協議を重ねていく。

※上記のほか、「狂犬病予防注射の接種率」について質問

将来の山鹿市消防団と常備消防の連携体制について

- 質問** ①令和4年度消防団員数と組織編制は
②現在の部の統合状況は
③消防団と常備消防の連携は

答弁 消防長

- ①令和4年4月1日現在の山鹿市の消防団員1767名、平均年齢は、38.5歳。組織編成20分団98部。
②菊鹿地域は32部を9部に、鹿央地域は23部を9部に、平小城地区の第7分団が7部を2部に統合。また、再編中であるが鹿北地域の岩野地区の第10分団の6部が5部となっている。統合による減少を不安に感じることのないよう、地区の実情を勘案しながら、統合された部で連絡体制を確立し、不在となりがちな昼間の出勤人員を確保する。
③常備消防の車両に中継送水するなどを連携しており、そのための訓練としてポンプの取り扱いや中継送水の訓練を毎年実施している。しっかり連携することで、被害の軽減につなげていく。

くまべ けんじ
隈部 賢治 議員
(清風やまが)



行政区の維持について

- 質問** ①山鹿市の人口、高齢化率、65歳以上の1人世帯の数は
②行政区の高齢化に伴う地域活動の維持をどう考えているか

答弁 市民部長

- ①令和4年3月末で人口49810人、うち65歳以上が19044人、高齢化率は38.2%。65歳以上の1人世帯の数は、令和2年の国勢調査結果では3023世帯。
②人口減少や高齢化により自治組織における役員のなり手不足や伝統文化の継承、道路の維持管理、防災対策、地域福祉など、住民自治機能が十分発揮できない状況を危惧している。今後さらに人口減少の進行が予測される中、機動力・組織力を必要とする場面では、行政区の枠を超えた住民組織、団体との連携が不可欠であり、これら地域が取り組む主体的な地域づくりについて、引き続き支援していく。

総合戦略課の体制と今後の方向性について

- 質問** ①体制や部局間の連携、事業内容は
②市長の方針は

答弁 ①総務部長 ②市長

- ①各部局の次長級職員等で構成する「庁内連携推進会議」を設置。課内に各部局の担当職員を配置し、部局間連携を推進する。
＜新規事業＞
『働き方×移住促進プロジェクト』
今年度中のIT企業誘致等の実現を目指し「首都圏IT企業現地訪問ツアー」を実施。
『山鹿市イメージ戦略プロジェクト』
県の「くまモン活用地域資源創出補助金」を活用した豊前街道の活性化を計画。
②人口減少対策を推進し、「選ばれる山鹿」の実現に取り組む。
・10年先、20年先の未来を見据え、新たな取り組みに失敗を恐れず果敢に挑戦。
・職員に人口減少対策の企画を募集したところ、200を超える提案があった。職員の熱い思いや豊富なアイデアをしっかりと受けとめ、事業効果の最大化と庁内連携の強化につなげる。

半導体産業等企業誘致推進本部の進捗について

- 質問** ①取り組み状況は
②事業展開は

答弁 経済部長

- ①TSMC進出を踏まえ、「半導体産業等企業誘致推進本部」と「半導体産業等企業誘致プロジェクトチー

たてやま だいじろう
立山 大二郎 議員
(清風やまが)



- ム」を設立。全庁的な推進、支援体制を構築していく。
②工業団地の整備のほか、宅地開発や商業施設誘致など幅広く検討。進出企業やその社員のニーズを整理し、スピード感を持って取り組む。

市職員の人材育成と活用について

- 質問** ①研修の現状は
②外部への派遣は
③インセンティブや専門職育成は

答弁 総務部長

- ①早稲田大学マニフェスト研究所による職員講話などを実施。本年度は専門研修やIT研修等に約90名を派遣予定。定住自立圏を形成する和水町とは合同研修を開催。
②県とは継続的に相互人事交流を実施、能力向上や関係構築の強化を図っている。内外を問わず専門的知識を持つ人材の活用は避けて通れない。
③研修受講、資格取得に伴う直接的なインセンティブは現在ない。多種多様な業務を経験させるジョブ・ローテーションを実施する一方で、専門職の育成も重要と考える。



まつみ しんいち
松見 真一 議員

(清風やまが)

自治体DX推進計画について

質問 どのような形で、よりよい行政サービスを提供するのか。また、業務効率化により生まれた時間やマンパワーをどのように行政サービスの向上につなげるのか

答弁 総務部長

令和3年12月に「山鹿市デジタル化基本方針」を策定し、住民の利便性向上を図るため、行政手続きや行政相談のオンライン化を進めていく。

デジタル化の取り組みによって、事務作業が効率化すれば、職員の生産性が向上するとともに、人為的なミス、いわゆるヒューマンエラーの減少にもつながる。それにより生まれた時間やマンパワーを、相談対応や訪問業務、事業計画の立案などに注力することで、質の高い行政サービスの提供が可能になると考える。

デジタル化の取り組みは、職員数が減少する中、将来的な行政サービスの維持においても必須の取り組みであり、今後も着実に進めていく。



せいだ しゅういち
勢田 昭一 議員

社会インフラ(特に橋)の現状と今後の整備計画について

質問 菊池川を横断する橋が6つある。それぞれの建設年及び耐用年数は

答弁 建設部長

現在、菊池川に架設された橋梁の架設年度は、国道橋「山鹿大橋；1953年(69年経過)」、県道橋「山鹿大堰橋；1976年(46年経過)、中川橋；1966年(56年経過)、分田橋；1937年(85年経過)」、市道橋「山鹿南部大橋；1975年(47年経過)、山鹿西部大橋；1981年(41年経過)」。その多くが高度経済成長期に架設されている。

耐用年数は、コンクリート橋や鋼材などの材料の種類によって異なるが一般的に50年程度と言われている。

質問 マイナンバーカードの現状と今後の取り組みは

答弁 市民部長

本市の本年5月末時点のマイナンバーカード交付件数は、18457件であり、市民の37.1%の方が取得されている。今後は、現在の取り組みを継続しながら、他自治体の事例も検討しつつ、カードの取得促進に努めていく。

質問 デジタル化に対する市長の思いは

答弁 市長

自治体行政におけるデジタル化については、今日の社会において避けては通れないものであり、最重要項目であると考えている。私自身、デジタル技術を活用できない自治体は多様化する社会から取り残されていくという危機感を持っており、そのため就任後、デジタル化における基本的な方針を定めた「山鹿市デジタル化基本方針」の策定を指示し、デジタル化の取り組みを加速させている。

今後も、様々な取り組みを行いながら、住民サービスの向上や行政業務の効率化を図り、市民の皆様の生活を豊かにすることができるよう、私が先頭に立って進めていく。

質問 それぞれの橋の、今後の整備計画は

答弁 建設部長

市道橋は610橋あり、今後、老朽化による劣化の進行などが懸念される。そのため「山鹿市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、5年ごとに点検・安全走行確保・健全性低下部分の修繕や補強を行い、予防保全に取り組んでいる。

熊本県鹿本地域振興局土木部から、県が管理する分田橋については、「計画的なかけかえ対象の橋梁であり、河川管理者である国との協議が進められているなど、かけかえに向け取り組んでいる」と聞いている。

その他の橋梁については、現在、かけかえの計画はなく、国・熊本県それぞれの橋梁長寿命化計画に基づき予防保全に取り組んでいく。

※上記のほか、「農業生産コストの高騰に伴う施策」「文化振興と市博物館の現状と今後の整備計画」について質問

タブレットを活用した学習について

質問 教育サービス（調べ学習サービス）の導入検討は

答弁 首席教育審議員

現時点では、調べ学習辞書のアプリは導入していない。今後、教育現場の意見も参考にしながら、学習環境の更なる整備を推進していく。

電子図書館について

質問 電子図書館導入についての見解は（令和3年6月質問より2回目）

答弁 教育部長

本市単独で運営するのか、他の自治体と連携し広域での導入を目指すのか、導入に係る経費やシステム維持に係る経費、利用者の利便性など多角的に検証が必要。導入している県内の自治体を調査研究し、もっとも効果的な方法を探求する。

導入については、今年度策定の「第4次山鹿市読書活動推進計画」の中で、調査研究を進めていく。

やました せいじ
山下 誠治 議員



自主防災組織活動について

質問 自主防災組織補助金利用の実績とその対象は

答弁 総務部長

過去3年の利用実績として令和元年度74団体、令和2年度13団体令和3年度11団体コロナ禍の影響を受け、訓練を自粛した防災組織が多くなったことで支出も減少した。

今後も、いつ発生するかわからない災害に備え、さらなる啓発と利用促進を図っていく。



物価高騰に伴う支援について

質問 食材値上げの影響を受けている給食費、成長期の栄養・安心安全な給食確保のために、

- ①市独自での無償化
- ②地方創生臨時交付金を活用して、値上げ分の負担軽減を図れないか

答弁 教育部長

- ①法により、学校設置者と保護者の負担が規定されており、法の改正及び財源の確保を国が行わない限り、実施は困難と判断している。
- ②交付金を活用した給食費の軽減を視野に対策を考えている。

質問 生理用品設置が広がっている。市でも取り組むべきではないか

- ①学校施設
- ②公共施設

答弁 ①首席教育新議員 ②福祉部長

- ①保健室に常備し、児童生徒の必要性に応じ対応をしている。引き続き調査を行い、ニーズの把握に努める。
- ②購入困難な方には、様々な理由があると考えるので、まず相談してほしい。「生活自立相談窓口」で、一人一人の状況に合わせた支援プランで、丁寧に対応し、生理用品の配付も含め検討する。

いもう
芋生 よしや 議員

（日本共産党）



質問 公共施設男性トイレにも、サニタリーボックスの設置はできないか

答弁 福祉部長

本庁舎や各市民センター及び市民交流センターには、多目的トイレに大きめのサニタリーボックスを設置している。設置されていない公共施設は、利用管理状況を勘案し、設置を検討する。



サニタリーボックスが設置してある本庁舎の多目的トイレ

※上記のほか「国民健康保険税の18歳までの市独自減免」について質問。



ふかまき だいすけ
深牧 大助 議員
(清風やまが)

山鹿市所有公園について

質問 都市公園等の維持管理状況と改修工事について

答弁 建設部長

樹木の剪定を年に1回から2回、消毒を年に2回、除草作業を年に2回から6回、清掃作業を週に1回から5回程度行っている。環境維持のために効果的な作業が行われるよう、その実施時期などについて委託業者との連携を図っている。改修工事は都市公園長寿命化計画に基づき施設の更新を進めている。

質問 今後の維持管理計画は

答弁 建設部長

来年度までに3カ所の都市公園について改修工事を予定しており、令和6年度以降についても今年度策定する第2期の都市公園長寿命化計画に基づいて更新を進めていく。

質問 安心して子育てできる環境が必要だと考えるが、現在の公園遊具の対象年齢は

答弁 建設部長

3歳以上6歳未満、3歳以上12歳未満、6歳以上12歳未満のものが設置されている。

質問 その他の所管部署が管理する公園について

答弁 経済部長

主に地元住民に利用されている公園が9カ所、観光客など不特定多数の方に利用されている公園が8カ所ある。必要に応じて施設の補修を行い、来場者が安心・安全に利用できる環境の維持に努める。



1歳から3歳児用の遊具が設置されている
菊池市の鴨川河畔公園

※上記のほか、議案第48号 令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）中、「バイオマスセンターの廃止に伴う国・県 支出金返納金」「観光・物産消費喚起対策事業」について質疑。



うどう たつき
有働 辰喜 議員

学校規模適正化事業により統合校として開校した小学校及び、既存の小学校・中学校の学校施設（屋内運動場）について

質問 国の定める学校規模に応じた必要面積を確保できていない学校名と必要面積は

答弁 教育部長

令和3年5月1日時点の現行基準において、屋内運動場の必要面積を満たしていないのは、山鹿小、菊鹿小、鹿本小、めのだけ小で、必要面積は山鹿小、鹿本小、めのだけ小が1215㎡、菊鹿小で894㎡、中学校では山鹿中、菊鹿中、鹿本中で、必要面積は山鹿中1476㎡、菊鹿中と鹿本中が1138㎡。

質問 既存施設を使用しているめのだけ小は、必要面積1215㎡の約43%、526㎡しかなく、築44年が経過し、耐用年数も超えている。何よりも、児童たちの約半数が行事に参加できないことや、使用を制限されることを解消するためには早急に建てかえが必要と考えるが、山鹿市の考えは

答弁 教育部長

開校前に耐震改修と劣化部の改修工事を実施、その後の耐力度調査では基準を満たしている。今後は学校施設長寿命化計画の中で、耐力度調査の結果、建てかえを要すると判断した場合、建築計画を作成する。

※上記のほか、令和4年度山鹿中学校スクールバス運行管理業務委託の事業者選定の指名型プロポーザル入札に関して、審査項目と配点が入札の都度変わる理由、審査項目の評価基準、評価資格、審査委員の構成と、企画提案書記載内容について質問。

また、道路運送法規制対象外の自家用バスの運転業務であること、バス事業者を対象とした審査項目・評価基準でタクシー事業者を審査するこのプロポーザル方式は不公平であるので本方式の中止と、めのだけ小の屋内運動場の建てかえ・増設を提案した。

令和4年（第2回）6月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市税条例等の一部を改正する条例）	承 認
議案第43号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
議案第45号	山鹿市行政不服審査法施行条例の一部を改正する条例	可 決
議案第46号	山鹿市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第47号	山鹿市鹿本ふれあいセンター条例の一部を改正する条例	可 決
議案第48号	令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第1号）	可 決
議案第49号	熊本広域行政不服審査会の共同設置について	可 決
議案第50号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	可 決
議案第51号	令和4年度山鹿市一般会計補正予算（第2号）	可 決
議案第52号	工事請負契約の締結について	可 決

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20
議 員	関口 和良	永田 壮弘	深牧 大助	原 芳郎	隈部 賢治	高橋 龍一	豊田 新二郎	山下 誠治	古川 和博	金光 一誠	松見 真一	立山 大二朗	小川 榮二	芋生 よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	富丸 洋一郎	北原 昭三	永田 紘二
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）



議案第44号（山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

条例改正に伴い、医療分の基礎課税額の賦課限度額が63万円から65万円に、後期高齢者支援分が19万円から20万円に上がる。平成5年度には50万円だった限度額が29年で52万円ふえ、過去最高額102万円の課税額となり、山鹿市では124世帯が影響を受ける。

国保世帯の収入は、この間それほど上がったとは言えない。コロナ危機と物価高騰で家計負担の増加率が高く、限度額を引き上げて中間層の負担増を抑制するという方式は、限界である。国の国庫負担率を大幅に引き上げて負担を軽減すること。市独自繰入れで引き下げを求め、反対する。

反対討論

芋生よしや議員

議員のよこ顔

趣味やマイブームを聞きました。

意外な一面も？

関口 和良 せきぐちかずよし

天気のいいとき山鹿のまちなみを歩いて回っています。



永田 壮弘 ながたけひろ

「家庭菜園」
雑草の方がよく育ってますが、子どもたちと一緒に収穫を楽しんでいます。



深牧 大助 ふかまきだいすけ

ゴルフの練習とBBQ、自家栽培野菜作り
(写真はマコモダケ)



原 芳郎 はらよしろう

皆がみんなのために頑張れる山鹿市づくり



隈部 賢治 くまべけんじ

山鹿50幸村医院野球チームの監督をしています。昨年は県代表で九州大会に出場！55歳になっても野球を楽しんでいます。



高橋 龍一 たかはしりゅういち

猫のお尻をトントンして、癒やされています。



豊田新二郎 とよだしんじろう

クロスバイクで山鹿の新たな発見を目指し、市内を散走しています。



山下 誠治 やましたせいじ

音楽（ギター、三線）
読書
家庭菜園（ミニトマト栽培）



古川 和博 ふるかかずひろ

全てに急ぎ過ぎな面があり、1つ1つゆっくり歩む事を心がけている。



金光 一誠 かなみついつせい

ドイツワインと菊鹿ワインを嗜んでいます。



松見 真一 まつみしんいち

可愛く泳ぎ回る金魚に癒されています。



立山大二郎 たてやまだいじろう

乗馬：乗るというより運ばれてます。
読書：蔵書15,000冊強、床が傾いています。



小川 榮二 おがわ えいじ

囲碁・将棋
無農薬・無肥料の自然農法による安心安全な自然米づくりに取り組んでいます。



芋生よしや いもうよしや

日本ミツバチを養蜂し、初めての採蜜中です。



勢田 昭一 せいだしょういち

市内の低山を楽しんでいます。(若い時は、高山でした。)
写真は、北アルプスの燕岳です。(26歳)



有働 辰喜 うどう たつき

終活・断捨離
人生の終焉は突然に!?
不用品処分から始めています。



服部 香代 はっとりかよ

庭やプランターで花やハーブを育てています。ハーブティーを飲みながらドラマを見るのが楽しみです。



富丸洋一郎 とみまるよういちろう

春に子猫が生まれ、最近はいたずらに手を焼いています。



北原 昭三 きたはらしょうぞう

近所を愛犬と毎朝、夜散歩してリフレッシュしています。



永田 紘二 ながたこうじ

狩猟(ハンティング)。雄大な阿蘇の原野を愛犬と駆け回り、狩猟による興奮、ストレス解消、動が健康の源です。



議会の主な動き

4月

- 1日(金) 教職員辞令交付式
- 3日(日) 荒尾市市制80周年記念式典
- 5日(火) 全員協議会
広報広聴委員会
- 8日(金) 宇野親治公墓前祭
国道3号植木バイパス建設促進期成会 監査
- 10日(日) 山鹿温泉祭 御幸式行列
- 14日(木) 熊本県市議会議長会
- 16日(土) くまもと地球会議2022
- 22日(金) 議会運営委員会
灯籠制作開始祭
- 27日(水) 九州市議会議長会定期総会(書面開催)
ミヤタ(株)新精米工場竣工式
- 28日(木) 広報広聴委員会

5月

- 9日(月) 広報広聴委員会
山鹿市国宮鞠智城歴史公園設置促進期成会理事会
- 13日(金) 市道芋生線道路改良期成会総会
- 15日(日) 菊池川水防演習
- 16日(月) 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会定期総会
- 19日(木) 全員協議会
国道3号植木バイパス建設促進期成会 監査
- 20日(金) 献穀事業 清祓祭・播種祭
- 22日(日) 全国都市緑化くまもとフェア開会式
- 23日(月) 熊本県市町村振興協会理事会
- 24日(火) 百歳到達者表敬訪問(1名)
全国温泉所在都市議会議長協議会定期総会
熊本県市議会議長会
- 25日(水) 全国市議会議長会定期総会
山鹿市区長協議会連合会総会
- 26日(木) 山鹿市遺族連合会総会
山鹿市商工会通常総会
山鹿市体育協会評議員会
- 27日(金) 広報広聴委員会
- 28日(土) 山鹿市民生委員・児童委員連絡協議会総会
- 29日(日) 山鹿市文化協会総会
- 30日(月) 議会運営委員会

6月

- 2日(木) 山鹿市人権のまちづくり推進協議会定期総会
山鹿市青少年育成市民会議総会
- 6日(月) 6月定例会開会・全員協議会
- 7日(火) 広報づくり講習会
広報広聴委員会
- 11日(土) シルバー人材センター定時総会
鹿本町振興公社定期株主総会
- 13日(月) 質疑・一般質問
- 14日(火) 質疑・一般質問・委員会付託
広報広聴委員会
- 15日(木) 建設経済常任委員会
- 16日(金) 市民福祉常任委員会
- 19日(日) 献穀事業 御田植祭
- 20日(月) 総務文教常任委員会
- 22日(水) 議会運営委員会
平山温泉観光協会総会
- 23日(木) 6月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
- 25日(土) 山鹿市中体連夏季大会(総合開会式)
- 28日(火) 百歳到達者表敬訪問(3名)
山鹿商工会議所通常議員総会
- 29日(水) 山鹿市温泉観光協会総会
- 30日(木) 広報広聴委員会



全国市議会議長会表彰受賞

「第98回全国市議会議長会定期総会」において、市議会議員として長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、表彰を受賞されました。



富丸 洋一郎氏
(15年以上)

【表彰規定】

10年以上 及び 15年以上市議会議員の職にある者。

要望書提出

「生理の貧困」で市議会団結

6月23日、「学校トイレに生理用品設置を求める要望書」を、市長・教育長に市議一同の同意で、提出しました。芋生よしや議員の一般質問(P8参照)で、「児童生徒から相談はない。必要に応じてニーズを調べる」との答弁を受けて、「生理の貧困は当事者が声を上げにくく、対象者の把握がしにくい、



すべての子どもが安心して学校生活を送れるように設置してほしい」と要望しました。

編集後記

6月7日に広報広聴委員会で「熊日広報紙づくり講習会」に参加しました。

いただいたアドバイスから、今回の議会だよりでは具体的な活動内容や議員の素顔が伝わる企画を試みました。

広報広聴委員会

立山大二朗
芋生よしや
豊田新二郎
高橋 龍一
深牧 大助
永田 壮拓

